

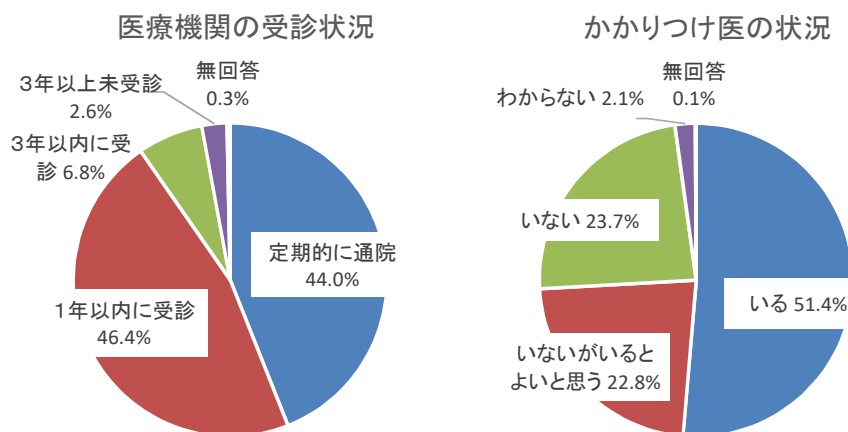
地域医療に関するアンケート調査〔調査結果報告〕

全国健康保険協会（以下、「協会けんぽ」。）鹿児島支部は、鹿児島医療圏及び南薩医療圏における加入事業所の事業主及び健康保険委員 2,213 人を対象に、「地域医療に関するアンケート調査」を実施しました。

- 調査目的：協会けんぽ加入者の地域医療に関する意識や意見、要望等を把握し、関係者への発信等、保険者機能発揮のための企画立案に資する基礎資料とする。特に、「地域医療構想」の策定のための協議の場において、加入者のニーズが地域の医療に取り入れられるよう、貴重な加入者の生の声として発信していく。
- 調査対象：協会けんぽ鹿児島支部に加入の事業所（鹿児島医療圏及び南薩医療圏）の事業主及び健康保険委員
- 調査時期：2019年9月
- 調査方法：郵送によるアンケート調査
- 配布回収：配布数 2,213 人、有効回答数 962、有効回答率 43.5%

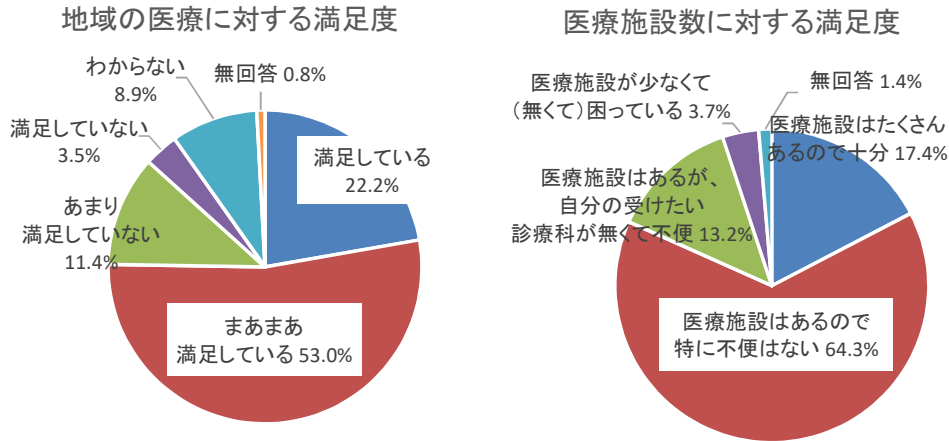
1. 4割強が医療機関を定期的に通院しており、年齢が上がるにつれてその傾向は高くなり、70歳以上で8割を超える。また、約5割に「かかりつけ医」がいる

- 医療機関の受診状況は、約5割が「1年以内に受診」、4割強が「定期的に通院」と回答している。40歳代以下は「定期的に通院している」が3割以下であったのに対し、50歳以上では「定期的に通院している」が5割を超え、70歳以上では8割を超えている。
- 約5割はかかりつけ医がおり、その約8割が定期的に医療機関を受診している者であった。



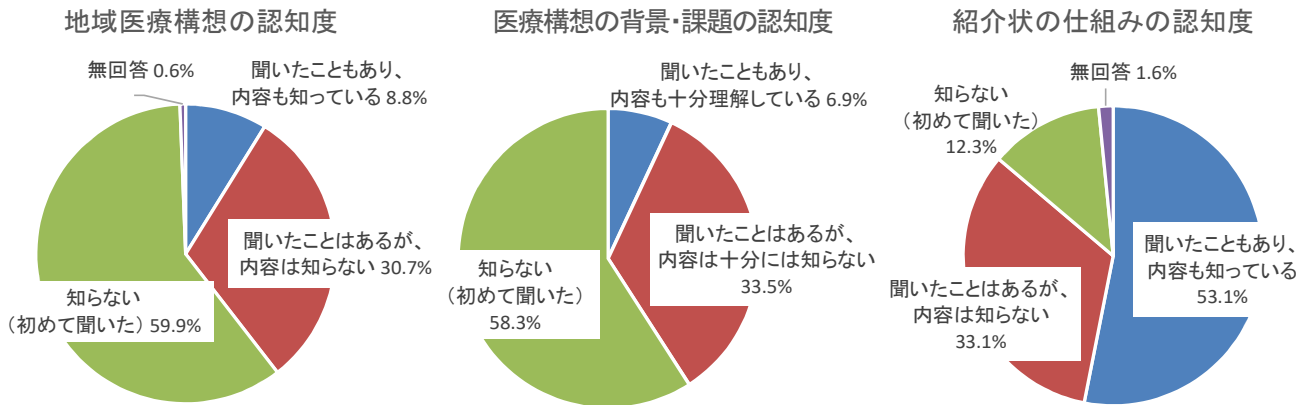
2. 8割弱が地域の医療に関して満足しており、年齢が上がるにつれてその傾向は高くなり、70歳以上で約9割近くまで高まる。医療施設の数についても同様の傾向がみられる

- 「地域医療への満足度」は、回答者の3/4が「満足している」と回答し、年代が上がるにつれて満足している割合が高くなる傾向がみられる。特に、鹿児島市で満足度が高くなっており、逆に満足度が低い地域は日置市、枕崎市、南九州市などとなっている。
- 医療施設の数についても、全体の約8割が現状の医療施設の数に満足している。特に、鹿児島市、いちき串木野市で満足度が高い。



3. 「地域医療構想」およびその背景にある課題について知っている人は1割に満たない。「地域医療構想」という名称を初めて聞いた人が約6割。一方、紹介状の仕組みについて9割近くが理解しており、認知度は非常に高い。

- 「地域医療構想」を内容まで含めて知っている人は1割に満たない。名称は聞いたことがあるが内容を知らない人が約3割、初めて聞いた人が約6割となっている。「地域医療構想」の背景にある課題についても同様の傾向となっている。
- 医療機関の種類および役割（一次～三次）の認知度は1割程度にとどまっている。また、医療機関の機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）について、半数近くが「知らない」と回答しており、周知が行き届いていないことが明らかになった。
- 紹介状の仕組みについては、9割近くが「聞いたことがある」、うち5割を超える人が内容まで理解しており、認知度は非常に高い。



4. 将来の地域医療における重要な役割と課題について、「五大疾病対策」や「認知症対策」と考えている人が多い。地域別では、日置市、南九州市、南さつま市は、「病院までの交通手段の確保」との回答も多い。

